加茂里山通信

令和3年 春号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
編集長 征矢貫造

里山に花は咲く

昨年から今年にかけての冬は本当に厳しい寒さが続いたので、桜や菜の花は遅れるのではないかと思われましたが、2月後半から3月にかけて暖かい日に恵まれ、例年よりも早かった昨年にも増して早く花が咲きました。地温が暖められたことでタケノコも3週間以上早く顔を出し、ワラビなどの山菜も例年より早く、桜の花が終わったと思う頃には山は新緑に覆われているといった具合でした。草もあっという間に伸びて草刈りのシーズンの始まりです。

冬の厳しい寒さが春の爆発的な生命の息吹に不可欠なのではないかと思わせるほどに短期間に里山は姿を変えていきます。タケノコも当たり年のようでたくさん採れ、出来もよく、何もしなくても山菜の採れる山のある里山生活は実に恵まれているなと実感します。

暮れから正月にかけてはまたコロナ感染者が急速に増え、1月には2度目の緊急事態宣言下におかれました。飲食店への時短要請と、不要不急の外出自粛、5人以上の会食の自粛の要請などがあり、GoToキャンペーンの休止やイベントの相次ぐ中止などで我慢の日々が続きました。宣言は解除されたものの新たな変異株の流行で第4波の感染拡大の始まりかと伝えられています。

そんな中でのこの春の到来は、まだまだコロナと対峙していかなければいけない日々が続いていく中で、気持ちの安らぎと希望をもたらせてくれます。折しも白血病から復帰した競泳の池江璃花子選手の4冠達成の活躍は多くの人の胸を打ち、希望を持って前を向くことの大切さを伝えてくれました。

この春に加茂地区とその周辺では次に向けてのいろいろな動きがあります。

かねてよりその活用方法が模索されてきた旧高滝小学校がこの4月、グランピング・リゾートとしてオープンします。その向かいにあった加茂病院は解体が進みコンクリートの建物が姿を消しました。駐車場として整備されるとのことです。市原ぞうの国もリニューアルオープンし、サユリワールドと合わせての名称が「アニマル・ワンダー・リゾート」となり、新しいロゴと共に新たなスタートを切りました。また、東南アジアなどでタクシーとして走っているトゥクトゥクという派手な色彩の3輪自動車が高滝界隈を走る姿が目撃されるようになります。養老渓谷の朝生原には移住希望者やオフィスを探している人への情報提供の「いちはらライフ&ワークコミッション」が立ち上げられました。すでに稼働し過疎化が進む加茂地区への人の呼び込みに努めています。小湊鉄道もトロッコ列車が再開されました。白と緑の新しい車両も目撃されています。高滝郵便局には郵便の創業当時のスタイルの黒い郵便ポストが設置されました。産直も宣言の解除とともに再開され、春の野菜や山菜が並べられ活気を取り戻しています。養老渓谷では「養老渓谷の日」記念イベントが開催され、アリオと養老渓谷を結び付けて「サイクリング&フィットネスバスツアー」が行われました。チバニアン周辺の5年後に向けての整備も始まります。医療従事者への感謝とコロナ克服の思いを込めて野外音楽堂へのブルーライトの照射と花火の打ち上げが行われました。

一般的なイベントが相次いで中止となる中で短期間に加茂地区とその周辺ではダイナミックにいろいろなことが動き出しています。コロナ禍の中でも、それぞれに関わる人たちの、前を向く姿勢と継続の強い意思が、かつて孟宗竹に覆われていた能田っぽりが多くの人の取り組みで素晴らしい景観になったように、この里山に多くの花を咲かせることになると思います。

（征矢里山通信員）

山口秀輝さん撮影

「いちはらライフ＆ワークコミッション」始動

空き家ありませんか

元地域おこし協力隊の高橋です。今は開宅舎（宅を開くと書きます）という会社を作って、移住希望者へ空き家の紹介を行っています。他に菜の花の活動や、牛久のカフェなど、やっていることや住んでいる場所など特に変わりませんので、これからも末長くよろしくお願いします！

3月28日、市原ＤＭＯが設立した「いちはらライフ＆ワークコミッション」の移住相談窓口が養老渓谷駅近くの朝生原に誕生しました。（駅から歩いて朝生原小学校跡地を越えた少し先です。）物件提案に開宅舎が連携し、このオフィスの制作にも直接関わりました。ここは南市原に移住を希望する方の窓口となるだけでなく、南市原に空き家をお持ちの方が気軽に相談に来れるような場所になっています。空き家の管理に困っている、空き家を手放したい、お金や手間がかけられない、どうしたらいいかわからない、そんな相談にのりますので、遊びに来て下さい。お茶しに来て下さい！

養老渓谷の拠点は、おもしろい作り方をしました。まず場所探しですが、あえて駅や道路から離れた場所を選びました。ここに来た方に、実際に移住した時の暮らしを想像してもらうためです。

また材料にもこだわりました。なるべく遠くのものは使わずに、近くのものを使うことにしました。木材は、大福山の木を切って製材したものを使い、レンガは建物の下の土を掘って作りました。また、ほとんどの部分は元々の家の骨組みをそのまま使っています。僕たちにできないところは近所の大工さんと一緒に作り上げました。かっこいいものになったのでぜひ見に来て下さい。

この場所はモデルルームでもあります。ここに来た移住希望者が、私もこんな家に住みたい、こんな作り方がしたい、こんな暮らし方がしたい、こんな働き方がしたい、そう思ってくれるような場所になればいいと思っています。同時に、空き家をお持ちの皆さんが、自分の持っている空き家がこんなに綺麗になるんだ、こんなによくなるんだ、そんな風に思ってくれればいいと思います。

僕たち若者にとっては、空き家は古くて不便な時代遅れの住居ではありません。空き家は懐かしくて新しい時代の最先端です！いま僕たちのところには移住したいという相談がたくさん来ています。あとは貸せる空き家があれば・・・加茂地区人口爆発は間違いないです！

（開宅舎　高橋）

養老渓谷の日

日本には様々な記念日があります。2月22日の「猫の日」や、11月22日の「いい夫婦の日」は、ご存知の方も多いのではないでしょうか。

では、4月6日は何の日でしょうか。正解は「養老渓谷の日」です。秋の紅葉では知られている養老渓谷ですが、春の菜の花や桜、新緑にもお客様に足を運んでほしいとの想いから、2019年に日本記念日協会の認定を受け、4（よー）6（ろー）という語呂合わせから、4月6日が「養老渓谷の日」として記念日登録されました。

「養老渓谷の日」を記念して、毎年4月第一週の土日に、養老渓谷駅前でイベントを開催しています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントは中止となりました。今年も開催してよいものなのか葛藤もありましたが、検討に検討を重ね、3月21日の緊急事態宣言解除を受けて、2年ぶりに開催することを決定しました。

イベント当日の4月3日、和太鼓パフォーマンスの「江粋連」さんのオープニングアクトでイベントがスタート。迫力ある和太鼓の音色が響き渡り、訪れた観光客のみなさんを楽しませました。いつもは観光バスの駐車場として使われるスペースには、ステージトラックが置かれ、ステージ上で行われる熱いパフォーマンスが、イベントをより一層盛り上げます。続いての登場は、キッズダンスパフォーマンス「こころ舞踊団ぷっちんべりんず」さん。華やかな子供達の舞いが、見るものを笑顔にしてくれました。小湊鉄道の人気企画である歌声列車でお馴染みの「笑レク」さんもステージ上へ。昭和歌謡をみんなで歌い、江戸芸や軽快なおしゃべりで笑いを取る、さすがのベテランの味。盛況の内に、15時半に初日の幕を閉じました。

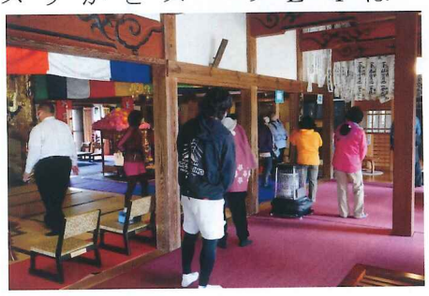
イベントにはバルーンアーティストの「海賊タロウ」さんも参加し、子供達にバルーンアートをプレゼント。養老川漁協や里山ファーム、いっぺあプリンにキッチンカーと、飲食ブースも充実しており、目や耳だけでなく、舌でも楽しめるイベントとなりました。

今年のイベントは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ステージ出演者も飲食出店も数を限り、密を避けるために、イベントの告知も控えめでの実施となりました。来年こそは盛大にイベントを開催し、「養老渓谷の日」を知っていただき、多くの皆様に足を運んでいただいて、楽しんでもらえるものにしたいと、今から意気込んでおります。

（是永里山通信員）

渓谷でフィットネス

新型コロナウイルス感染拡大防止の為の外出自粛要請が続き、旅行消費が低迷しています。そこで新たな観光消費の創出の可能性を探るべく、集客力のある商業施設「アリオ市原」のお客様が観光消費者になりうるかの試みとして、市原市観光協会は「養老渓谷の日（4月6日）記念　ＮＥＳＴＡパーソナルフィットネストレーナー　千葉県出身プロレスラー　大和ヒロシと行く　アリオ市原から養老渓谷サイクリング＆フィットネスバスツアー」を実施しました。



年度初めの平日にも関わらず、12名の方が参加し、食事（養老渓谷名物とろろ定食）・サイクリング・宝林寺見学・フィットネスを堪能されました。参加者は一様に「大自然の中で、身体にいい内容のツアーを経験できてとても楽しかったし、リフレッシュできました。次回開催されたらまた参加したい。」と口にされていました。

（阿部里山通信員）

湖面に華開く

3月30日午後7時から養老にある野外音楽堂後方の田んぼから春の花火が打ち上げられました。（主催・市原市観光協会　協力・養老東朋会）この時野外音楽堂はブルーライトに浮かび上がり、周りの満開の桜は淡いピンクにライトアップされました。ブルーライトはコロナと向き合い日々奮闘されている医療従事者の方々への感謝が込められており、花火はコロナの終息を祈願したものでした。この趣旨に賛同された協賛者の方々の支えがありました。3月の月末としては暖かく、風もほとんどない上に、野外音楽堂からは人家の明かりも見えないという絶好の条件の中で65発の花火が夜空に舞いました。かつての高滝湖花火大会を思わせるような湖面に映し出される花火は、号数は小さくても轟音と高さそして華やかさは号数の大きな花火にも負けないくらいのものでした。

今回はコロナ禍の中で非公開で行われましたが、この時の6分30秒間の様子をユーチューブの動画として見ることができます。「花火　ｉｎ　高滝湖」で検索してみて下さい。

（征矢里山通信員）

山口秀輝さん撮影

四十九夕接種

市原市のワクチン接種の概要公示されました。

6５歳以上の高齢者に対する接種券の発送は４月下旬から始まり、同時にコールセンターや予約受付も始まります。

ワクチン接種は４月下旬をめどに特別養護老人ホームから始まり、５月中旬から一般の高齢者の接種となる予定です。６５歳未満の接種は５月の中旬以降の通しとなっています。

基礎疾患のある方や高齢者施設従事者から始まり、一般の方は早くても７月の見通しとなっています。

3月24日現在の情報です。国のワクチン供給のスケジュールによって変動もあります。ので、広報いちはらなどの市原市からの情報を確認してください。

（大倉組・里山通信員）

加茂地区の集団接種は加茂公民館で、南総支所保健福祉センター（茶の花館）が巡回型の会場となっています。

市内９０か所の病院、クリニックも接種の協力をしていただきますが、医療従事者優先の病院もありますので、コールセンターの確認してください。

『春の山菜料理』

草団子（上新粉２００ｇ・白玉粉４０ｇ・砂糖４０ｇ・温湯１６０ｃｃ・ヨモギ１５０ｇ・重曹小さじ１・粒あん３００ｇ）

準備：ヨモギは茹先の茶殻かいい部分を摘み、よく洗ってから、細かく刻んで茹で、水にさらしてから絞り、重曹を入れて練る。②茶こしに白玉粉と砂糖を入れ、温湯を入れ、ヘラで混ぜる。③茶こしから出来た生地を小分けにして入れ、（三）

すりこぎ棒で潰す。④手に水をつけて、生地を12等分程度に丸める。⑤蒸し器に水を入れ、強火で蒸す。⑥蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑦蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑧蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑨蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑩蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑪蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑫蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑬蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑭蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑮蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑯蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑰蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑱蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑲蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。⑳蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉑蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉒蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉓蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉔蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉕蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉖蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉗蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉘蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉙蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉚蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉛蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉜蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉝蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉞蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㉟蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊱蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊲蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊳蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊴蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊵蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊶蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊷蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊸蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊹蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊺蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊻蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊼蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊽蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊾蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。㊿蒸し上がったら、冷水に取り、他の四人分を作る。

『加茂菜漬け』

で我慢され、２月～３月の畑の加茂菜が桜菜のおかが鍵で取り、他の四人分を作る。東京に出て、３月末に実家に戻り、折り、長ようやくそれぞれ整えて東京にもどれた。その後、加茂菜を水に洗い、塩で揉み、その家に戻れた。初の四人分を作る。

『ピーナッツ味噌』

千葉県のソウルフードしゃなぎ（千葉県花生200ｇ・味噌60ｇ・みりん大さじ1・酒大さじ1）

合わせたものを鍋に入れて、弱火で10分位炒める。中火で落花生がカリッとするまで鍋に入れ、酒、みりん、味噌を加えて合わせたものを鍋に入れ、強火で中火にしてしばらく炒めて出来上がり。

『ミニなすのおひたし』

（大倉組R里山通信員）

あっという間に出来上がる。

地域おこし協力隊シリーズ

市原南部の良さ

みなさまこんにちは。里山通信も3回目となりました。

田淵の古民家ゲストハウスですが、自分で作業しているときの少し遅れてしまいます。ほぼ毎日鍛冶作業中です、住所は田淵7９１におりますので、まだ来ない人が死にいるなっている様子をもちろんけれどいただいたりと盛りしいです。

まず、くまでは今後の目標などのお話でした。今回は生活や活動していく中でありたい、自転車乗り（外から来た人）目線で市原南部のよさを紹介してみたいと思います。

まず、家の解体をしている人たちの健康とシェードです。地域の方々たちが手伝いに来てくれました。昔は親戚のようなやっぱり家の片付けや解体をしていたりしてくれたりとか、ボランティアの人たちが、ボランティアの人たちが、ボランティアの人たちが

加茂学園は今

第8回　加茂学園卒業証書授与式

春の訪れを感じる晴天に恵まれた3月10日（水）に「第8回加茂学園卒業証書授与式」を、卒業生・保護者・教職員のみで執り行い、卒業生25名が卒業証書を受け取り巣立っていきました。ご来賓の皆様からの祝辞は代読となりました。祝電は式場に掲示し披露させていただきました。

今年度は様々な行事が例年とは異なる形での実施となりましたが、新しいスタイルにも子ども達は柔軟に適応しコロナ禍を乗り越えてきました。

2分の1成人式

3月12日（金）に「2分の1成人式」を執り行い、10歳になる小学4年生15名が将来の夢を立派に発表しました。子ども達は親への感謝の手紙を手渡し、多くの保護者が涙を流しながら手紙を読む姿が見られました。とても温かで、和やかな式となりました。

卒業制作

加茂学園を巣立った子ども達（9年生）の発想とアイディアで素晴らしい看板ができあがりました。加茂学園の近くに来られた際は是非ご覧下さい。

（今井里山通信員）

市原商工会議所ニュース

6社が熱い思いを語る

創業からの成功ストーリー発表会

市原商工会議所は起業して10年以内の事業所のプレゼンテーション大会「創業からの成功ストーリー発表会」を3月6日に開催しました。この事業は市原商工会議所が創業者を支援し、創業しやすい街としてアピールするために企画したものです。発表会の冒頭で榊原義久会頭は「当所に相談に来られて共に事業計画を立てて歩んできた創業者の素晴らしい商品やサービスを広く知らしめ、創業の機運を醸成させたい」と挨拶しました。

公募した6社の経営者がそれぞれ事業にかける思いや夢を熱く語り、金融機関や団体の審査員が事業の独自性、将来性、収益性などを評価しました。最優秀賞には姉崎で菓子製造やカフェ経営などを手掛ける「CAFE KRUZE（TSUMUGU株式会社）」が選ばれました。

発表会の様子は市原商工会議所のホームページで公開しております。詳細はスマートフォンのカメラを起動しQRコードを読み取ってください。

（霜崎里山通信員）

編集後記

・「市原ぞうの国」が「サユリワールド」と合わせた名称を「アニマル・ワンダー・リゾート」として3月23日にリニューアルオープンしました。入場してすぐ目の前には象たちの水遊び場の「エレファント スプラッシュ」があり、オープン初日、7分咲きの桜と快晴の下、象たちが本当に気持ちよさそうに、まさにはしゃぎまくっている様子がなんともほほえましいものでした。小さい子供が家庭用のプールではしゃいでいるのとまったく同じで、大喜びしている様子は新鮮でした。

・加茂里山通信は加茂地区の各家庭には新聞折り込みで、市原商工会議所の会員には会報に同封されて、公民館利用者には公民館で取っていただく形で配られています。この中で会報に同封される場合の期限が早まったためにひと月遅れてしまうようになりました。そこでこれまで25日発行という形でやってきましたが、20日発行と、少し早めたいと思います。記事のタイミングで遅れる場合もありますが、左記のように次回発行を7月20日とさせていただき、それに向けて編集作業をしていこうと思います。

・季節はすぐに初夏。さわやかな季節です。新緑が目に沁みます。

（征矢里山通信員）

次回は**7月20日**発行予定です。

情報提供、取材依頼はお近くの通信員へ。
メールでも受け付けます。
記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。

市原商工会議所
0436（22）4305　担当　霜崎
Eメール　1sapo@i-cci.or.jp

房総・養老渓谷の
地酒お土産は
養老渓谷駅前
角屋商店
養老渓谷観光協会窓口
市原市朝生原181
TEL0436-96-1108
FAX0436-96-0052

愛車のある幸せな暮らし
応援します！
安全・安心
有限会社　全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL0436-96-0482
FAX0436-96-1293

皆様と共に歩む観光
さわやかな季節にバス釣り！
高滝湖観光企業組合
TEL　0436-98-1277